



ペアレンティングハウス ガイドライン

ペアレンティングハウスとは

ペアレンティングハウスは全国のゲストハウスを活用した親子交流支援です。

離婚や別居に伴い、こどもたちが両親による養育を受ける場を失ってしまわないように支援を行なっています。まるで自宅の様な空間を「離れて暮らす親子のおうち」として楽しみながらご利用ください。

親子交流の考え方

従来型の面会交流では成し得なかった「離れて暮らす親による養育」を実現することを、ペアレンティングハウスでは可能にしました。

離れて暮らす親子が会うだけでなく、家型の空間を利用して、一緒に料理をしたり、勉強を教えたり、仲良くごろごろしたり、まるで同居時の子育てのような交流の在り方を「親子交流」と位置付け、新しい子育ての考え方として全国に普及することを目指しています。

交流の仕組み

■ 予約調整機能

両親同士が直接連絡を取り合うことは一切発生しません。

親子交流の予約をしたい親の方から予約リクエストを行います。予約リクエストをもとに運営が施設へ空き状況を確認した後に、相手親の方は予約リクエストの内容を確認することができます。

日程は予約者が3日分の候補あげて、その中から相手親の方は選ぶようになりますが、候補日すべて都合が合わない場合は、相手親の方から3日分の候補を提出してもらうようになります。

■ サポーター支援

相手親との関わりが難しい場合、親子交流を実施する施設までの送迎や交流中の付き添いをサポーターに依頼することができます。

「お迎え→現地付き添い→お送り」を専門の研修を行った認定サポーターが支援します。

親子交流の心得 1

親子交流は普段一緒に過ごせない親がお子さんに養育を行う場です。親子交流を養育費の報酬という捉え方は絶対にしないでください。

親子交流の心得 2

親子交流を行う施設は、お子さんの居住地に近いエリア（車で50分以内）を優先しましょう。

親子交流の心得 3

お子さんを相手親に対するメッセンジャーとして扱わないようにしてください。

お子さん経由で相手親に手紙を渡すことも認めておりません。また、お子さんに相手親の状況を聞く行為も禁止しております。

親子交流の心得 4

一緒に暮らす親の方は決定した親子交流日に他の予定を入れたり、お子さんが行きたくなくなるような行為はおやめください。

親子交流の心得 5

一緒に暮らす親の方はお子さんが帰宅後、できるだけ喜びや楽しかったことを共感してあげてください。お子さんが交流を通して両親の感情に気を使うような言動は避けてください。

親子交流の心得 6

お子さんに相手親の悪口を言ったり、親子交流を支援するサポーターや施設などに関する非難することはおやめください。ペアレンティングハウスに対するご意見は公式HPよりお問い合わせください。

サポーター制度の利用について

ペアレンティングハウスには各地の親子交流支援者によりボランティアで構成された認定のサポーターがいます。サポーターは親子交流を円滑に実施するために送迎や付き添いを担います。専門の研修を経て、一定の基準を満たすことをサポーターの認定条件としていますので、安心してお任せすることができます。サポーターを利用する場合は、予約リクエストへ返答する際に選択してください。ただし、サポーターがいない地域や日程の都合により対応できない場合もあります。

サポーター利用の注意点

サポーターを利用する場合は以下の事項をお守りください。

- ・ サポーターはボランティア活動の協力のもと成り立っています。支え合いにご理解を示していただき、感謝の気持ちを持って丁寧な対応を心がけてください。
- ・ サポーターから指示がある場合は、必ず従ってください。
- ・ サポーターへの個別相談はおやめください。
- ・ お子さんが拒否感を抱く場合は、お子さんとサポーターの時間を作り緊張感をほぐすように努めます。その際、一緒に暮らす親の方はお子さんの傍から一旦離れていただき会話が聞こえない位置で待機してください。
- ・ サポーターの判断により交流を中止、遅延する場合があります。

送迎支援の注意点

お子さんの送迎支援を利用する場合の注意事項です。

- ・送迎はサポーターが対応します。
- ・送迎の利用は「チャイルドシートが必要ではない年齢以上」とさせていただきます。
- ・原則、車での送迎になります。
- ・お迎えの場所は、一緒に暮らす親の方が指定できます。
- ・交流後のお送り先は、お迎え時と同じ場所になります。
- ・送迎時間は交流時間に含まれません。お迎えの推定時間は予約完了後、予約詳細画面に表示されます。時間厳守でお願いします。

付き添い支援の注意点

お子さんの付き添い支援を利用する場合の注意事項です。

- ・ 付き添いはサポーターが対応します。
- ・ 交流時は、無断でサポーターから離れる行為はおやめください。
- ・ お子さんとの会話はサポーターにも聞こえるようにお話しください。ひそひそ話はおやめください。
- ・ 施設外への外出は徒歩のみ可能ですが、サポーターがいる場合は同伴いたします。

一緒に暮らす親の方へ

- ・相手親からの予約リクエストに対し、必ず応答をしてください。日程が合わない場合は、システムの手順に沿って別の候補日を選択してください。
- ・当日の段取り（時間、場所、サポーターの送迎や付き添いなど）をお子さんに伝えておきましょう。
- ・天候や気温に応じて、着替えや傘などの準備をお願いします。
- ・お子さんの体調不良などで、決行できない場合は公式HPよりお問い合わせください。
- ・乳幼児の場合は、オムツ、おしりふき、ミルクなど必要なものはご準備ください。

離れて暮らす親の方へ

- ・親子交流の目的は「子育て」であることをご理解ください。お子さんをお客様扱いするのではなく、おとうさん・おかあさんとしてお子さんが成長過程に必要な養育を行ってください。
- ・施設は「離れて暮らす親子のおうち」です。ご自宅同様、使用された物品はお子さんと一緒に後片付けをしてください。
- ・お子さんへのプレゼントは自由ですが、紛失・盗難などは一切責任を負い兼ねますため自己責任でお願いします。また、頻度について毎度プレゼントを渡すことは同居時で考えた場合、非現実的です。一般的なプレゼントを送る時期に沿った考慮をお願いします。
- ・お子さんの居住地特定につながるような会話や誘導は避けてください。
- ・両親による子育てを目的としていますので、両親以外の利用は本支援の対象外となります。

利用料の負担について

- ・ペアレンティングハウスの利用料は「予約をした側」による事前決済となっています。
- ・お支払いはクレジットカード決済のみとさせていただきます。
- ・交流中に発生する食費や支援外部で発生する費用は各自でご負担ください。
- ・不履行が生じた場合や、サポーターによる判断で中止となる場合など、交流が実施できない状況であっても施設の利用をおさえていることからご返金はいたしかねます。